

学番	7	新潟北高等学校
----	---	---------

令和 2 年度

学校関係者評価（報告）

学校運営実施報告	
重点目標	学校関係者評価を踏まえた次年度の主な課題と改善策
「確かな学力」を育成する	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻の防止をはじめとする基本的な生活習慣の確立、基礎学力の向上を図る。 放課後の個別指導や、長期休業中の補習により、一人一人に応じた確かな学力を育成することで、進路実現を図る。 科目選択において、卒業後を見通した体系的指導が必要である。
進路希望の達成を図る	<ul style="list-style-type: none"> ジョブサポートティーチャーを中心に、生徒の就職支援はもちろん、雇用企業等の新規開拓について、管理職も含めて積極的に取り組むことが必要である。 就職内定率 100%は達成されているが、卒業後の離職率低減のためにキャリア教育の中身を、より充実させる必要がある。 進学志望者に必要な学力を身につけさせるために指導内容を充実させる必要がある。
心豊かな人間性を育む	<ul style="list-style-type: none"> 学年団と生徒指導部が連携し、問題行動を起こした生徒への指導や保護者対応を的確に行うとともに、未然防止のための指導に力を入れた。 広報の発行や学校訪問をとおり、地域や中学との連携は密に行うことにより、問題行動の防止に一層努めていく必要がある。 発達障害等を抱える生徒への適切な対応については、引き続き職員全体で研修等を行っていく。 地域の外部資源である県立幼稚園や県立大学、学校近隣自治会との連携や交流を継続し、新規事業の開拓についても模索していく。 スクールカウンセラーには教職員と生徒の教育相談での潤滑油のような役割を担ってもらうことができた。今後もさらなる有効な活用を検討する。 問題行動の未然防止に努め、問題行動が発生した際には、背景の理解に努めながら、毅然とした対応を行い、再発防止に結びつける。
開かれた学校をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 地域で信頼される学校となるために、積極的に学校を開き、ご意見をいただき、地域とともに活動する場を増やしていく。 夏季休業中の中学生対象の体験入学の他に、授業公開ウィークを設け、中学校関係者等に学校を公開した。学校評議会等でも学校関係者に授業等を公開した。今後も、保護者や地域の方々にも広く参加を呼びかける。 PTA 総会等に出席する保護者数の増加を図るため、学校全体でその位置づけ等について検討するとともに、保護者等の意見、要望を取り入れ改善を図る。